

平成31年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
UP-1	NPO法人 くまもとオカリナの会	熊本地震復興支援 第4回 「くまもとオカリナッセ」	オカリナの普及活動と熊本地震からの復興を支援し、内外にアピールするため毎年秋に「くまもとオカリナッセ」を開催しており、第1回は国内から100名参加第2回は韓国の2団体16名を含め120名を超える参加、さらに第3回は世界で活躍する第1人者の大沢聡氏を招聘し、韓国と日本国内から130名を超える参加者で実施し、回を重ねるたびに大きく盛り上がっている。2019年度は、さらに中国からのゲスト演奏を迎え、国際色豊かに実施し国内外に熊本の文化はもとより地震からの復興をアピールする。	150,000
UP-2	NPO法人 しらさぎ	熊本城石垣・清掃ボランティア活動	武者返して有名な熊本城の石垣除草には、高所作業者の助勢は欠かせませんが、一般参加者ができる高所作業から掃い取られた草木や葛の掻き集めや、地上より届く箇所での石垣除草や城内清掃者など混成チームでの収集作業を計画しております。今年度は、熊本地震からの復興が進むなか、熊本県立第一高等学校隣接の石垣と古城堀端公園の清掃ボランティア活動を一般市民の皆さんや職場に学校等広範囲にお知らせとご案内を致します。本事業が市民参加の年中行事として継続できるような内容に持って行く事が最大のテーマです。	203,000
UP-3	西南戦争田原坂顕彰会	西南戦争田原坂戦没者追悼式	田原坂の戦いが終結した3月20日に、熊本市長を始めとする来賓や全国の遺族を招いて、西南戦争で亡くなった1万4千余名の方々の追悼式を開催し、西南戦争の意義を顕彰するとともに、平和教育に資することを目的に開催します。	250,000
UP-4	NPO法人 ディスカバリーくまもと	熊本市の隠れた観光地を英語でガイドする為の講座	平成31年度は熊本城、水前寺成趣園以外の地域（校区）の観光地を地区の小学生、並びに保護者を中心に「英語でガイド養成講座」を定期的に行います。特に昔からの古い町並みのある碩台校区、壺川校区、それに黒髪校区を今回案内したいと思っております。校区の子ども達と保護者が一体となって観光客を英語でガイド出来るよう養成してまいります。特に、今回は保護者の方も参加されることで、各校区の住民の方々との繋がりも強固となり地域の活性化にも貢献できると思っております。また、この地区への外国人観光客誘致はもとより観光地域として発展していけるよう取り組んでいきます。	190,000
UP-5	傾聴ボランティアくまもと	震災仮設住宅の被災者一人一人の話に耳を傾け、元気を取り戻すお手伝いをする	震災仮設住宅に残っておられる被災者を毎月訪問し、一人一人のお話に注意深く耳を傾け、その心に寄り添いしっかり受け止めて聴くことで、被災者の心を癒し、また心の安定と生きる力・生きる勇気を湧かしてもらおう。自己肯定感の回復（被災者の自立）につながるお手伝いをする。 また「傾聴の意味と意義」「傾聴ボランティア活動の重要性」を広く周知するため、傾聴では第一人者の講師を招き公開講座を開催する。	180,000
UP-6	NPO法人 ガット	熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業	熊本市内の小・中学校の司書（司書補助員）、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し希望校を募る。相談事業実施校については、まず、視察や相談内容をとおして課題をとらえ、改善内容を検討する。次に、ガットが改善案を作成し、実施校に回答する。運営のための準備作業が必要な場合は、ガットがサポートに入るようにする。また、実施校を借りて他校の図書館担当者へも呼びかけて、改善の方法等を伝えたり、先進校の司書を講師として招いて講習会を開催したりする。	202,000

平成31年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
UP-7	うえき自然塾	里山での親子自然体験活動	豊かな自然の中で、親子で思いっきり体を動かし、友だちと遊びながらたくましさや優しさを培うことを目指し、四季折々の活動を設定している。基本的には、毎月1回の季節に応じた野外体験活動（作る・食べる・遊ぶを軸に、竹を使った工作、川遊び、調理体験、飯盒炊飯、山遊び等）をスタッフの指導の下で体験活動を行う。	130,000
UP-8	NPO法人 熊本県難聴者中途失聴者協会	難聴者・中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座	難聴、中途失聴者が自分の障がいについて理解を深め、さらに、社会参加するうえで必要な知識や社会資源等を学ぶためのセミナーを開催する。セミナー（講座）においては「当事者研究」（問題を抱える当事者が、問題への対処の仕方を自ら研究し、当事者間で共有する方法）の専門家を招き、講演会とワークショップも合わせて開催する。セミナーとワークショップは当事者を対象として実施する。講演会のみ関係団体・教育機関関係者等にも公開とする。	224,000
UP-9	NPO法人 でんでん虫の会	イベント出店活動・料理教室、実習体験交流会による居場所づくり	今までにつながってきた他団体との関係などにより、イベント参加の機会を得ることが増え、実施することで会員の意識が向上し孤立を防ぐ効果があることを見た、また、食は人とのつながりと生きる喜びを味わうとても価値ある機会となるため、この事業によって、1.イベントには当会自ら出店して参加し、2.調理を実際に行いながら食を楽しむ機会を作る事業とする。	200,000
UP-10	NPO法人 福ねこ舎	福ねこ舎 地域文化活動事業	障がい者、高齢者はじめ地域住民の楽しみとして、毎月開催される定例コンサートや展示会、落語会などの内容をさらに充実させ、広く知らしめ参加者の増加を図る。さらに、その成果として記録に残す。また、地域や参加者のニーズを把握し、将来へ向けて高齢化の進む地域で住民が精神的に豊かな生活を送れるように、運営する人材を育てたい。	200,000
UP-11	ことう文庫の将来を考える会	本を通して地域がつながり、子どもをはぐくむ文庫へ	H30年度に引き続き、①事業1：図書事業として、開館と本の貸し出しを行ないます。②事業2：文庫維持管理と広報事業として、古くなった本や設備の入れ替えと広報チラシの作成・印刷をします。③事業3：コミュニティづくり事業として、Book cafe 開催と夏祭りへの参加をします。④事業4：活動のデータベース化事業として、本の良さ、本の力を発信します。また、開館時に行ってきた工作や体験についてデータベースを作り、発信します。本年度は新たに、年齢ごとにオススメする絵本の紹介データベースを作り発信します。	140,000
UP-12	くまもと転入ママの会 くまてん	幼児対象子ども料理教室 『子どもが一人で作る カンタン ごはん』	厳選した食材・調味料を使用し、最高の味を引き出す調理法で、子ども自身に料理を体験してもらおう。計量から調理までを一人で行う中で、生きる力、考える力を引き出す。また、子供たちが、安全に料理をするための環境作り、見守り方を、親にも学んでもらう機会とし、料理が苦手、転入のため実家も頼れない、女性の担う役割が増え、時間をとって、子どもたちに料理を教えることができないママたちの悩み解決の場も作り。生きることは食べることでもあり、よりよい人生を歩んでもらうために、「食」の力を持った子供を育てるきっかけ作りをする。	250,000

平成31年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【スタートアップ助成】

助成金予定額 50万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
ST-1	NPO法人 ブライトパル熊本	“伝統行事を楽しむ”親子い け花	経験したことのない華道を通じ伝統文化等の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性を育む事業です。四季を感じ、親と共に伝統行事を更に楽しむ機会を創出します。7月に七夕向け、12月にクリスマス向けの生け花を型にとらわれず自由な発想で親子各々生けてもらいます。お互いの作品を美点凝視で認め合い、教室終了後には作品を展示し、市民の方々へ障害に対する理解を深めて頂けるように事業を実施します。	100,000
ST-2	NPO法人 くまもと新創生プロジェクト	「おもてなし」と「礼儀作 法」講座の開催	「おもてなし」と「礼儀作法」を勉強するために、専門家の方をお呼びして、公開の講座（無料）を開催いたします。具体的には、「あいさつ」、「食事のマナー」、「おしぼりの使い方」、「敬語の使い方」、「お茶のたて方」、「お客様への接し方」等々です。実践だけでなく、「なぜ、そうするのか」という理論もきちんと勉強することが、大切です。	100,000
ST-3	HAPPY PARK	HAPPY PARK ~街中×子 育て×遊園地~ 食とスポー ツの広場	熊本内の街中で、子どもは木育を中心とした遊びやスポーツ体験をしながら、母親は発表の場や癒しを得ながら、家族全員が楽しめるイベントです。熊本地震後のコミュニティ支援や産後ケア・復職支援・ひとり親支援を広く知ってもらうコーナーも設けます。母親目線の企画で行うイベントとして、年1回開催の子育てイベントの風物詩になることを目指します。イベント全体の中の「食とスポーツの広場」の部分申請します。	100,000